

大歯発第135号
令和2年5月1日
(総務課扱い)

地区代表者 殿

大阪府歯科医師会
会長 太田 謙 司

歯科医院における新型コロナウイルス感染症
不顕性患者への対応について

平素は、会務運営に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

会員各位におかれましては、患者来院時に問診票での確認、検温等により新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮されていることと存じます。

新型コロナウイルス感染症の治療が進む中で、無症候性低酸素症を呈する不顕性患者が、急性増悪により重症化する症例が報告されております。

これを受けて、必要に応じ酸素飽和度の確認をし、患者の健康状態を適切に把握することが重要であり、厚生労働省はQ&Aにより、

SpO₂測定的重要性を喚起したところです。

つきましては、別添資料を貴地区所属の本会会員の先生方にご周知賜わりますようお願い申し上げます。

- ・ 府民の方へ安心安全な歯科医療の提供
 - ・ 歯科医院における歯科医療従事者の健康管理
- のために受付時・診療時における患者さんへの
さらなる健康状態の把握・確認を励行してください。

＜受付時＞ 体温・酸素飽和度 SpO₂ の測定

＜診療時＞ 呼吸数・血圧・心拍数の測定

＜参 考＞

①軽症者等の療養に関するQ & A

Q：宿泊療養において、健康状況を確認するうえで、酸素飽和度 SpO₂ や呼吸数などを把握するため、パルスオキシメーターを備え付ける必要性如何。

A：新型コロナウイルス感染症については、発生早期に比較的症状が軽い場合でも、急激に増悪する場合があります、酸素飽和度の低下との関連が専門家から言及されている。

(厚生労働省 令和2年4月7日発出より抜粋)

②呼吸数正常範囲

安静時の健康な成人の平均的な呼吸数は、毎分12～20回、
1回換気量（深さ）は450～500mlである。
年齢別平均呼吸数は以下のとおり。

年齢	回数
6週間（新生児）	30～60回/分
6ヶ月	25～40回/分
3歳	20～30回/分
6歳	18～25回/分
10歳	17～23回/分
成人	12～18回/分
65歳以上の高齢者	12～28回/分
80歳以上の高齢者	10～30回/分

Q



酸素吸入時には 値をいくつ以上に 維持すれば良いですか？

A

酸素飽和度 SpO_2 は、酸素吸入時に 90% 以上に酸素流量を維持します。 SpO_2 が 90% 以上であれば、通常は充分組織に酸素が供給されているので、健康な方の標準値を維持する必要はありません。ただし、何らかの原因で組織に充分な酸素が供給されない場合には少し高めに維持します。



なぜ SpO_2 を 90% 以上に維持するのでしょうか？

SpO_2 が 90% 未満は呼吸不全の状態です。長期に継続すると、心臓や脳といった重要な臓器に充分な酸素が供給されず、障害を起こすことがあります。そこで、 SpO_2 を 90% 以上に維持する必要があります。健康な方の SpO_2 の

標準値は 96 ~ 99% ですが、酸素吸入にて標準値を維持する必要はありません。むしろ、標準値を維持するために酸素量を増やすと、二酸化炭素が身体に貯留してしまうことがあります。

- SpO_2 90% 以上を維持しましょう



- 必要以上の過剰な酸素流量は、二酸化炭素の貯留を来すことがあるので注意しましょう！



急激に二酸化炭素が身体に貯留すると、頭痛、発汗、血圧上昇を来し、最悪の場合、昏睡状態になってしまいます（ CO_2 ナルコーシス、P16 参照）。